
マチミチstudy現地勉強会in春日部

春日部市が進めるウォークブル施策について



春日部市
都市計画課

令和6年11月11日（月）

春日部市は鉄道の高架化で都市構造が変わる

道路が変わる

駅前広場が変わる

公園が変わる



まちの景色を大きく変える

100年に一度のまちづくりを、これから展開します



1. 春日部市の紹介
2. 春日部市の中心市街地
3. 中心市街地の現状
4. 春日部市が進めるウォーカブル施策について



1. 春日部市の紹介

春日部市の紹介（位置・市域等）



位置

埼玉県の東部地域で都心から35km圏
関東平野のほぼ中央

坂がほとんどないウォーカブル向き地形
埼玉県は全国でも5本の指に入る晴れの多さ

市域と面積

南北約12km、東西約11km

面積約66km²→（ほぼ浜名湖、TDL142個分）

鉄道

東武伊勢崎線と東武野田線

その他

藤、桐たんす、ユリカモメ、首都圏外郭放水路

(INTENTIONALLY BLANK)

世界的人気のアニメ『クレヨンしんちゃん』の舞台

平成16年度に野原一家が特別住民登録、平成22年度から「まちの案内人」、「子育て応援キャラクター」として活躍中

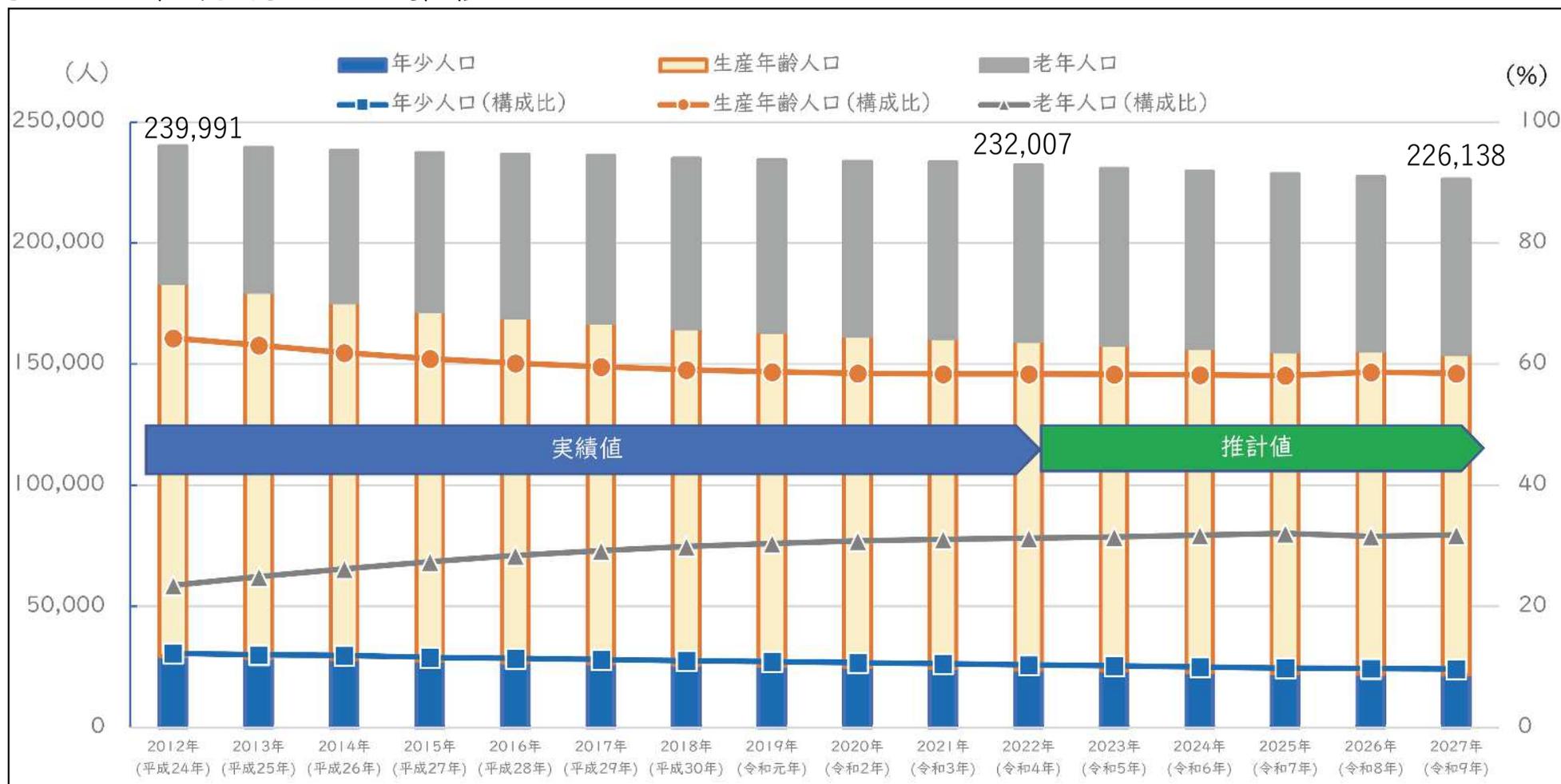
例えば、、、

- ・市役所にしんちゃんとひまわりのモニュメント
- ・春日部駅の発車メロディが「オラはにんきもの」
- ・コミュニティバスがしんちゃんのラッピング
- ・さらにコミュニティバス車内アナウンスの一部がしんちゃんの声に
- ・児童センターにしんちゃん、ひまわり、シロ、カスカベ防衛隊のモニュメント
- ・「赤ちゃんの駅」の目印となるステッカーに野原一家

春日部市の紹介（人口等）



総人口と区分別人口の推移



総人口：230,031人（R6.10.1現在）

年齢区分別人口：年少、生産年齢人口割合減少
老年人口割合増加

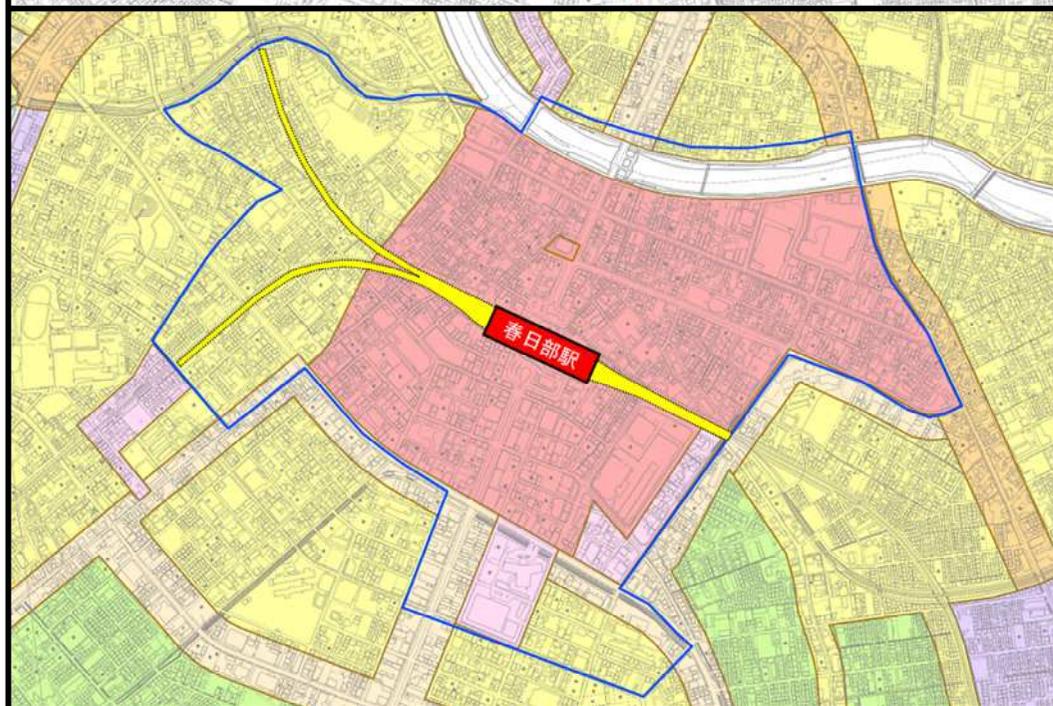
ゆるやかに人口減少・少子高齢化が進んでいくとともに、財政規模の縮小が見込まれる

※令和2年国勢調査時点で埼玉県内63市町村のうち 人口減少率：43位 高齢化率：26位



2. 春日部市の中心市街地

春日部駅周辺中心市街地



位置・広さ

春日部駅を中心に広がる約150ha
(2TDL・1TDs)

用途地域

商業地域	約77ha
近隣商業地域	約7ha
その他	約66ha

鉄道

東武鉄道伊勢崎線東武鉄道野田線の接続駅

公園

約1.4ha

一級河川

大落古利根川 約6.6ha

公共施設

春日部市役所、春日部市立医療センター、
市民文化会館、中央図書館、東部地域振興
ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」、
春日部第2児童センター、春日部中学校

その他

春日部市の中心市街地はこのエリアだけ

中心市街地の沿革①



江戸

日光東照宮の造宮のため全国から集まった工匠が帰郷の際に
良質な桐があることから粕壁宿に住みつき、桐たんすの生産が活発化

米や麦の集散地
舟運拠点として発展

婚礼家具
として普及

桐たんすの
端材利用



昭和

桐たんす

粕壁町最大の産業に発展



桐箱

全国一の生産量



羽子板

全国生産の半分を生産



麦わら帽子

最盛期は年間生産量50万個



現在

家具店として、現在、**匠大塚**などに
引き継がれている

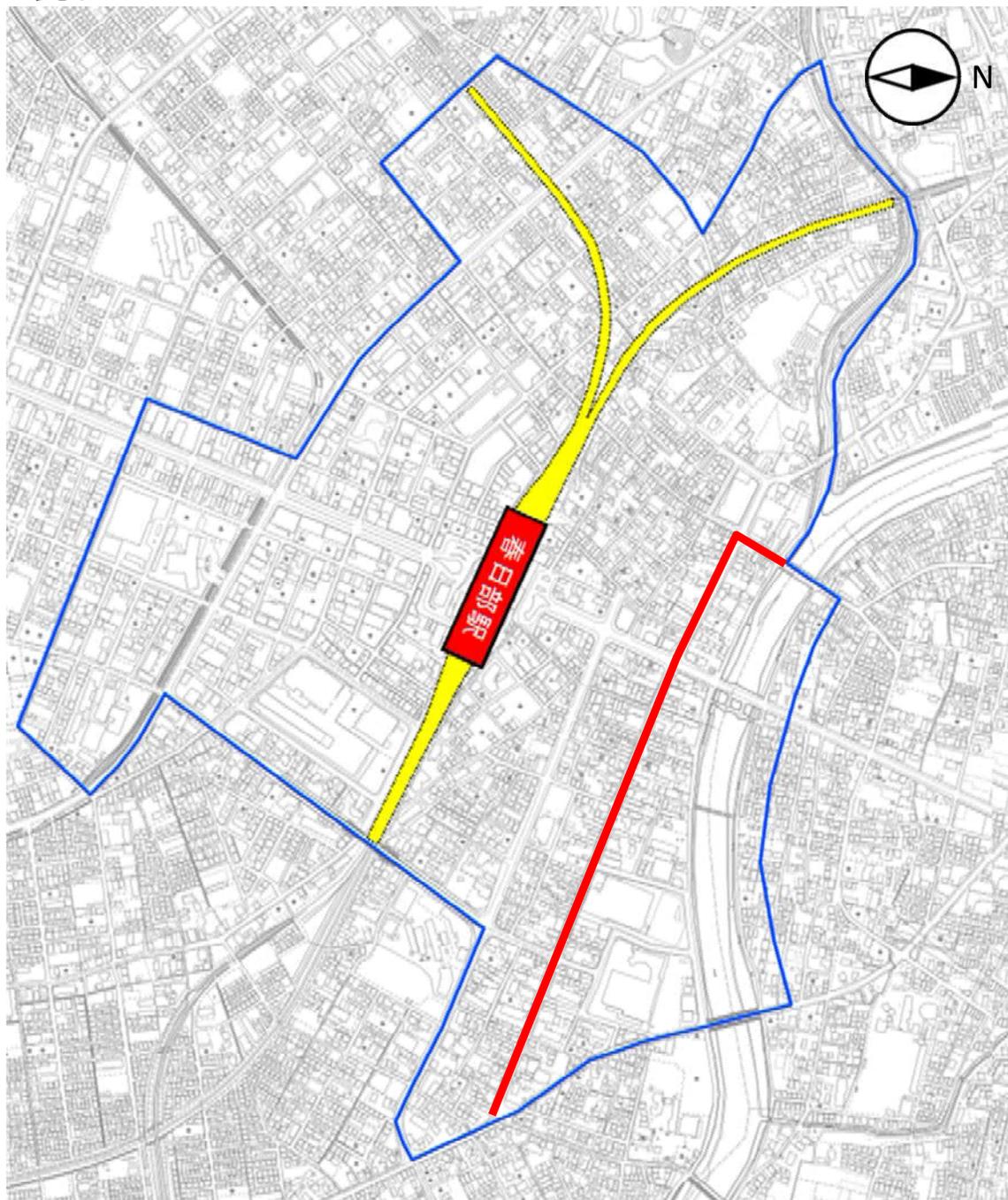
かすかべ押絵羽子板
と**特産品まつり**など

創業明治13年から
6代目まで続く
田中帽子店など

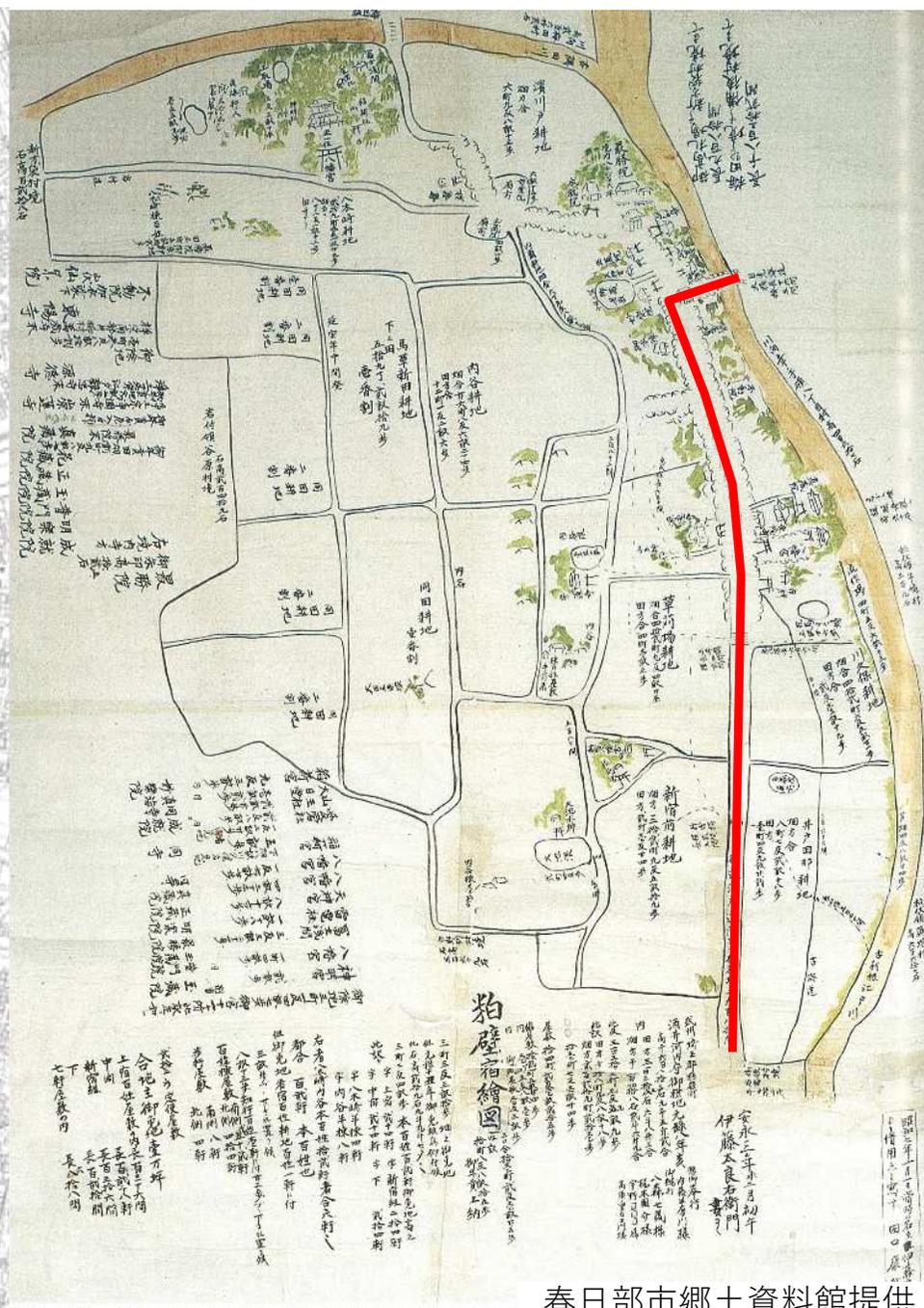
中心市街地の沿革②



現代



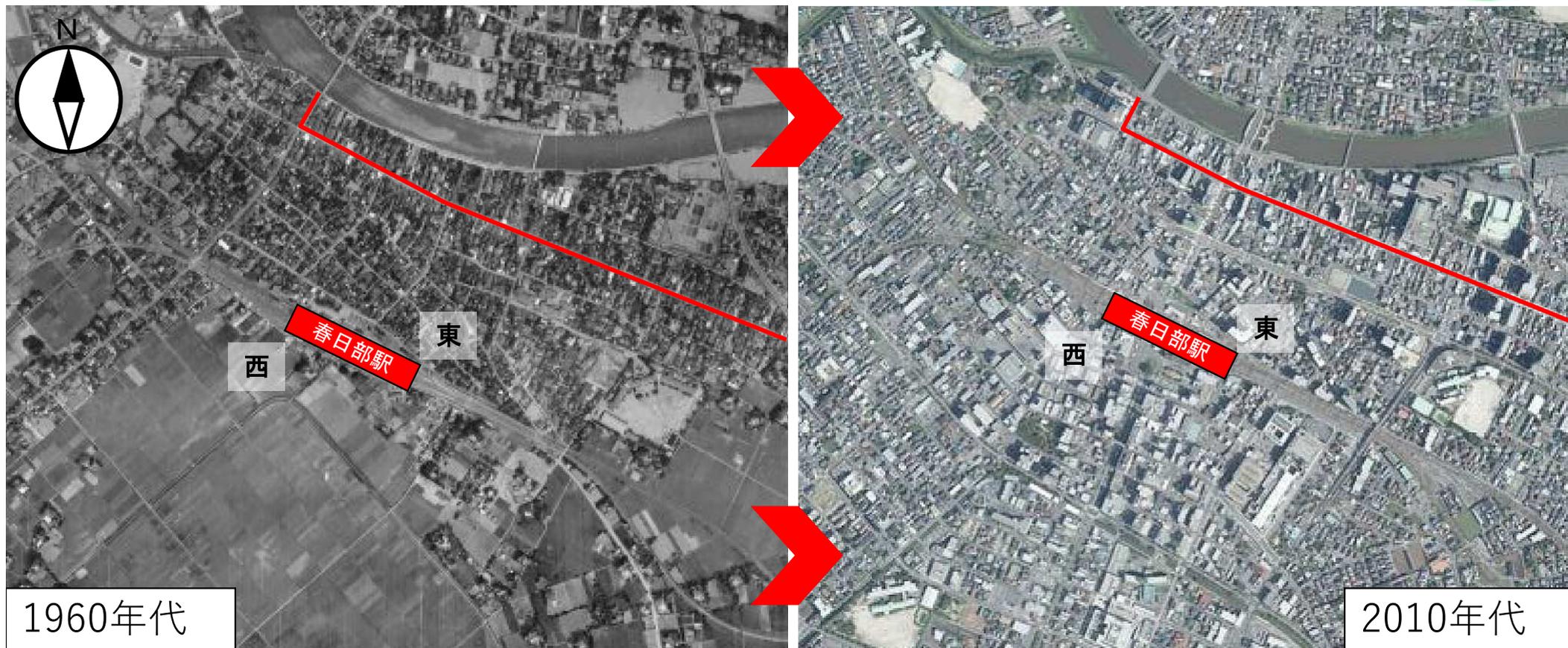
江戸時代



春日部市郷土資料館提供

▲安永3年 粕壁宿絵図写(春日部市郷土資料館蔵) 昭和7年に郷土研究者によって写し

中心市街地の沿革③



1960年代

2010年代

- 高度経済成長期から首都圏への人口集中を支えるベッドタウンとして、鉄道駅を中心に市街地が形成され、急速な発展を遂げた
- 一面田畑であった西口周辺の土地区画整理事業などの都市基盤整備の進展により、商業・業務機能や公共施設の立地が進んだ

日光街道の宿場町という歴史から発展してきた春日部駅東口
高度経済成長期の区画整理でできた春日部駅西口

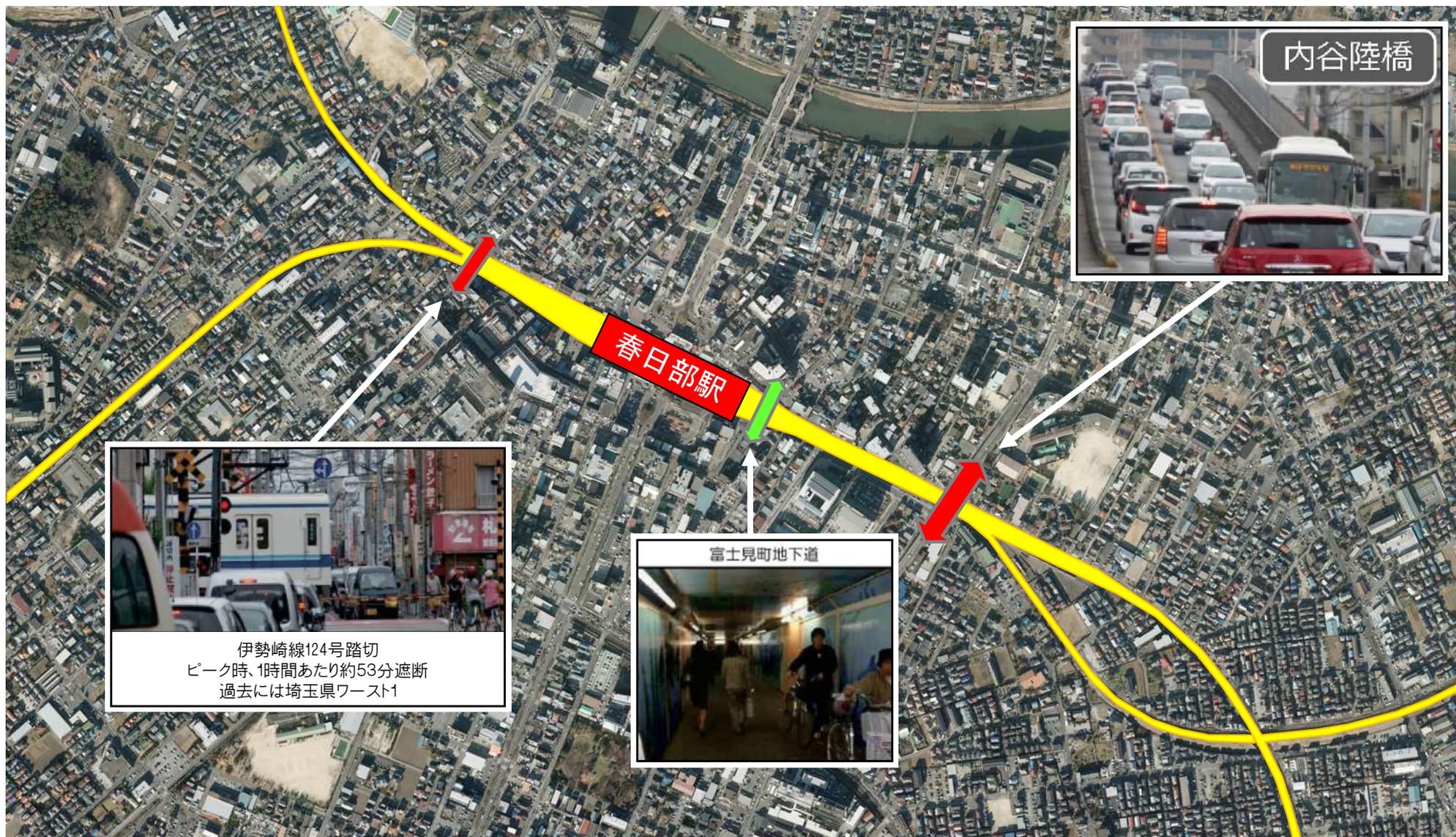
まちができた時代・成り立ちの差

結果として、春日部駅を中心に東西の“まち”が別々の歩みを進めることに



3. 中心市街地の現状

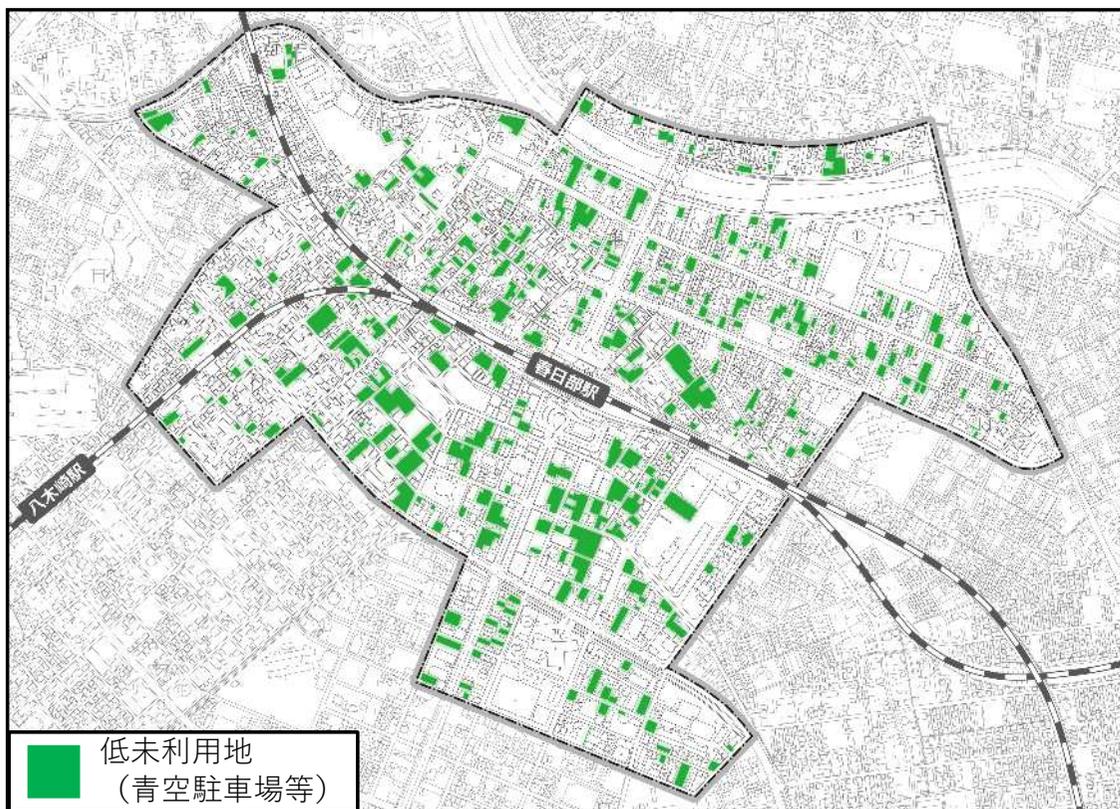
中心市街地内の移動



鉄道があったからこそ、春日部駅の周辺は栄えた。 . . .
しかしながら、東西の横断ができる箇所は限られ、渋滞がつきまとう現状となっている。

中心市街地に求められていること① 移動の円滑化

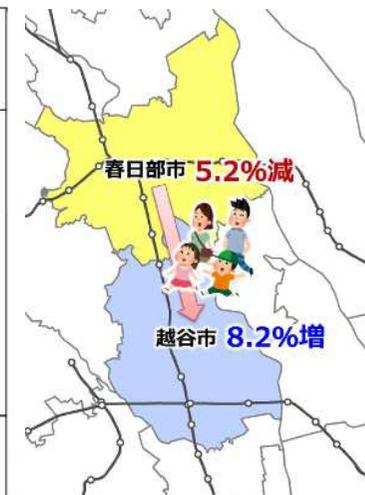
中心市街地のスポンジ化



中心市街地の1割弱が低未利用地

春日部市内で買い物を楽しむ人の割合が減少

(購買率)	春日部市	越谷市
2000年	70.8%	8.5%
大型商業施設 立地動向	2008年：ララガーデン開業 2013年：イオンモール開業 2016年：西武百貨店 (旧ロビンソン) 閉店	2008年：越谷レイクの開業
2015年	65.6%	16.7%
増減	5.2%減	8.2%増



出典：埼玉県広域消費動向調査

出典：埼玉県広域消費動向調査

購買行動の市外流出

渋滞が頻繁で東西の行き来がしにくい状況は、
円滑な経済活動の妨げとなり、まちのスポンジ化が進行している。

中心市街地に求められていること②

まちの魅力を高めること

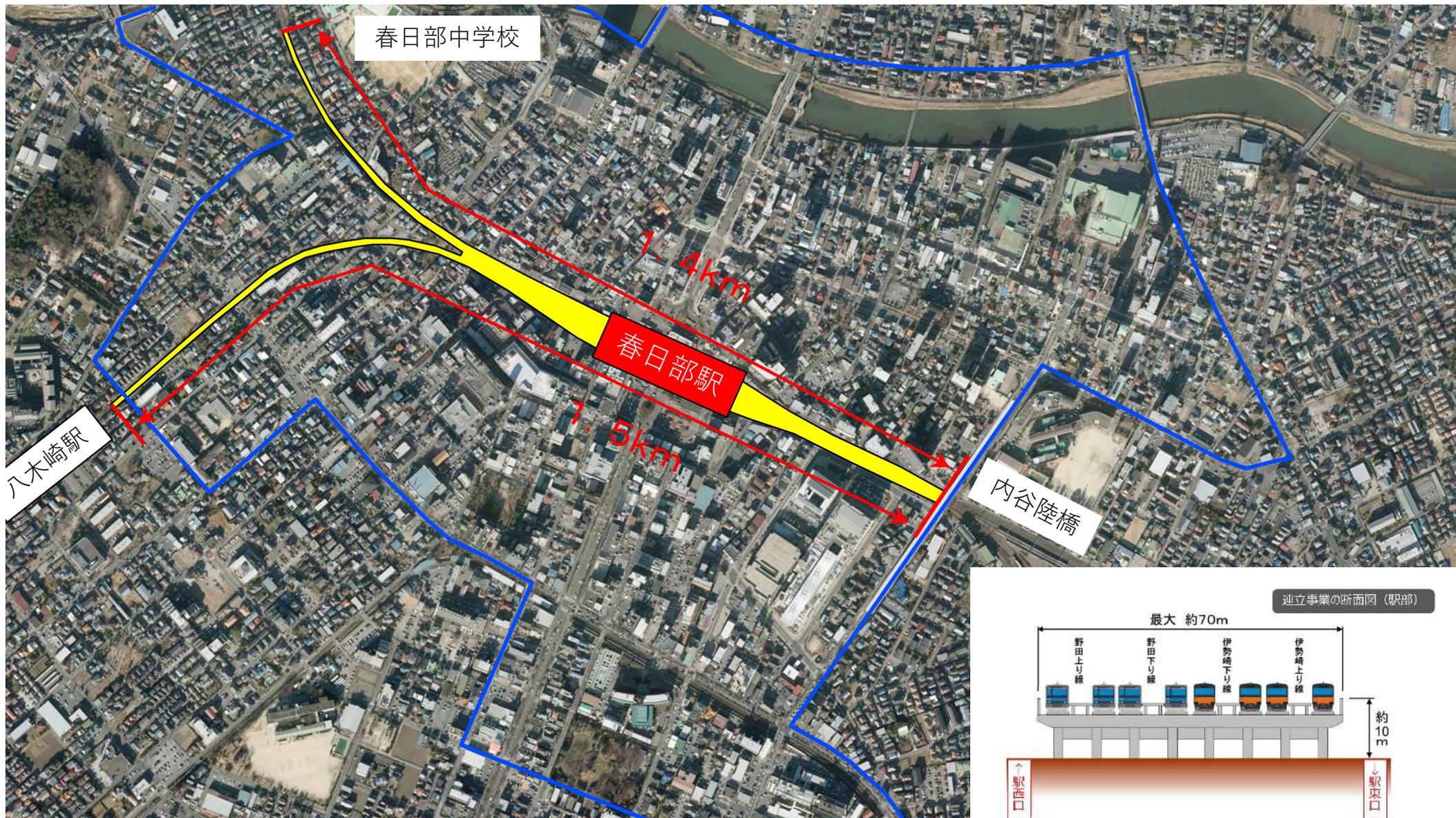


4. 春日部市が進めるウォーカブル施策について

鉄道の高架化

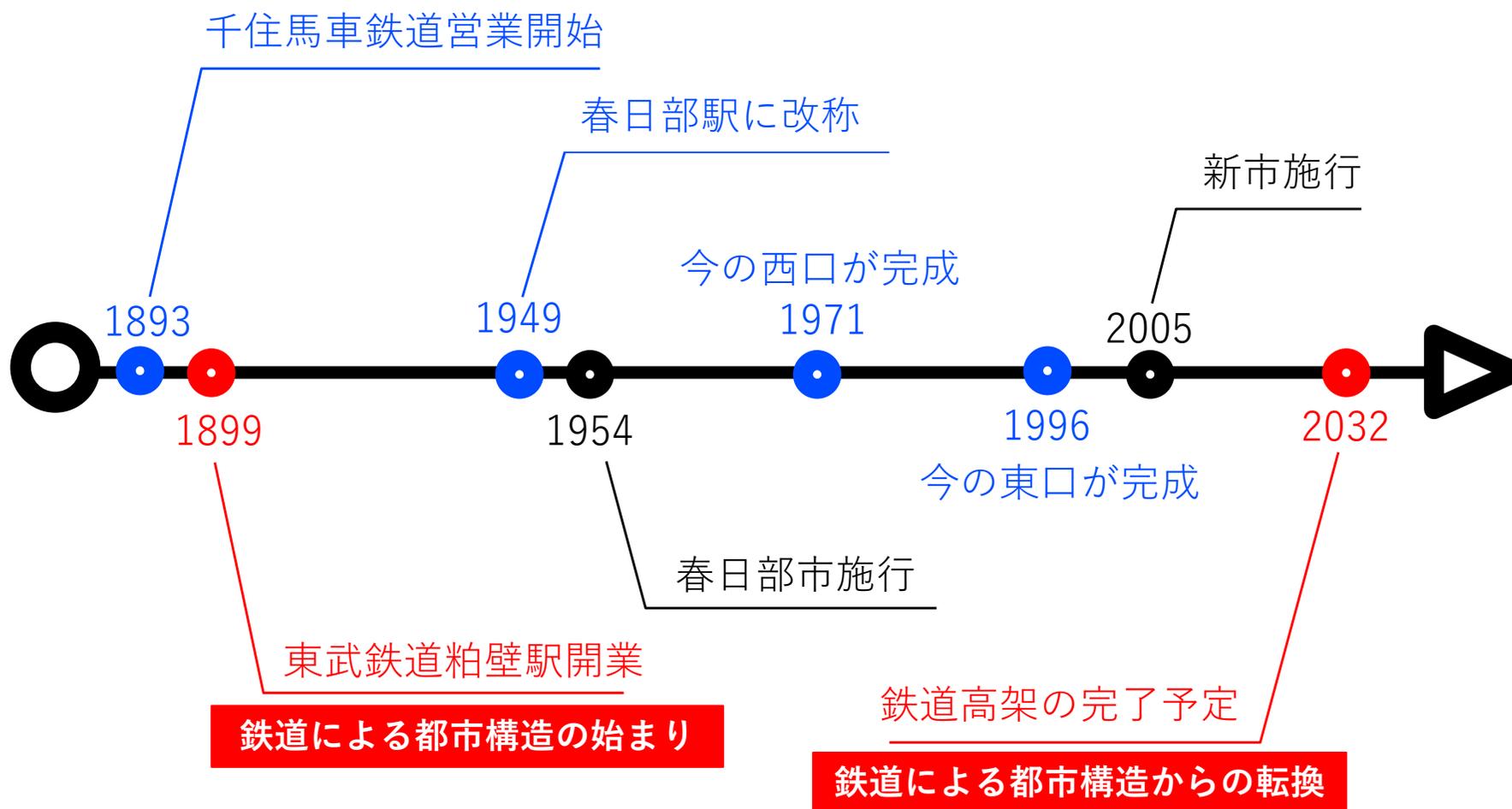


高架化の区間



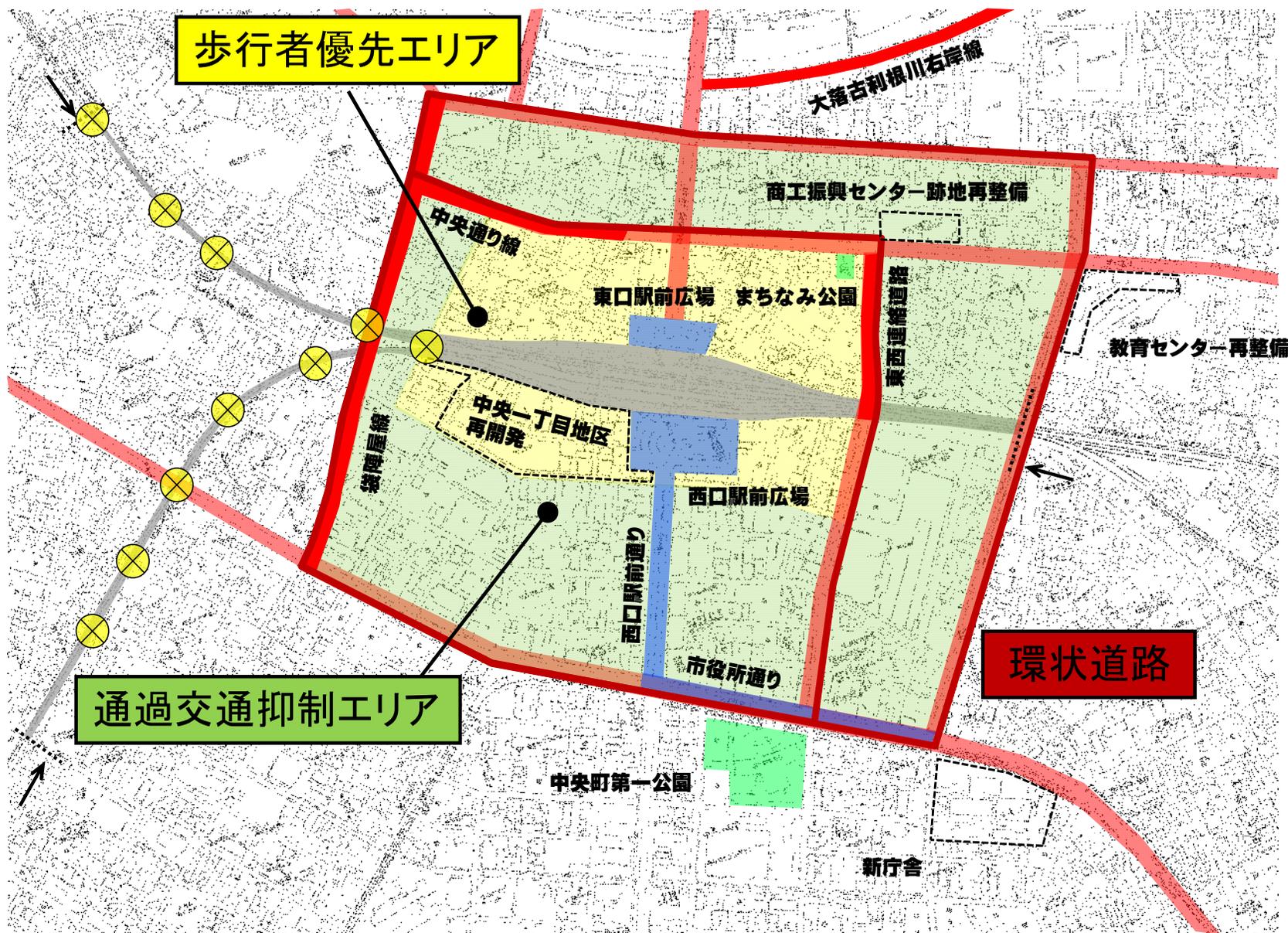
開かずの踏切を含む10箇所の踏切を除却、駅には自由通路
→渋滞がなくなり、東西の行き来がしやすい都市構造へ転換される

高架化は100年に1度の大規模都市構造転換



春日部駅開業から鉄道の高架化まで133年間

鉄道の高架とあわせたウォークブル施策



- 新規整備(道路)
- 再整備(道路)
- 再整備(公園)
- ⊗ 踏切(除却)
- 鉄道の高架化区間

鉄道の高架とあわせたウォーカブル施策



公共空間の再編

春日部駅東口イメージパース

春日部夏まつり

- ・ハレの日の舞台としての設え

筑波山

春日部の歴史性を感じるウェルカム広場(東)

- ・キリの木を中心とした広場構成
- ・大小様々な滞留空間
- ・充実した案内サイン類

ブロンズ通りへの流れと溜まり

- ・人の流れを導くような道路線形と植栽配置
- ・すき間に生まれる小さな滞留空間
- ・歩行者優先の舗装

広場とつながるガラス面(東)

- ・いってらっしゃい、ただいまを感じる空間
- ・歴史、文化、祭に関する展示がお出迎え

東西の一体感を生みだす緑のストリート

- ・突き当りにはキリ(市の木)
- ・端正さや落ち着きを感じさせる直線的なデザイン

コンコースを貫くシンボル軸

- ・都市の中心軸線上にラチ内コンコースを配置
- ・春日部のスケール感を感じるシンボリック空間(公園橋通りのシンボリック街路樹空間)
- ・乗降場シェルターの設置は可能な限り避ける

※このイメージはあくまで市が作成したものであり、関係者と調整したものではありません



鉄道の高架化は100年に一度の大規模都市構造転換

財政規模の縮小が見込まれる中、同規模の都市基盤整備はもうない

課題の物理的解決は決まっている

鉄道高架による単純効果→渋滞解消 移動の円滑化

物理的に東西の行き来がしやすくなるこのタイミング

物理的解決・単純効果だけじゃ未来はない

ハード整備だけされても、そこで活動する人がいなければ、“まち”は淋しい

ハード整備とソフト施策が相乗効果を出す方向性がマスト

ハード施策とともに“まち”を変える手を打たなければならない

行政と民間が手を取り合って、
“まち”を変えていくことができれば、、、

ハード

環状道路

歩行者優先エリア

通過交通抑制エリア



官民連携まちづくり

ソフト

公共空間の再編



春日部版ウォーカブル施策における2つの取り組み

春日部版ウォーカブル施策における取り組み①

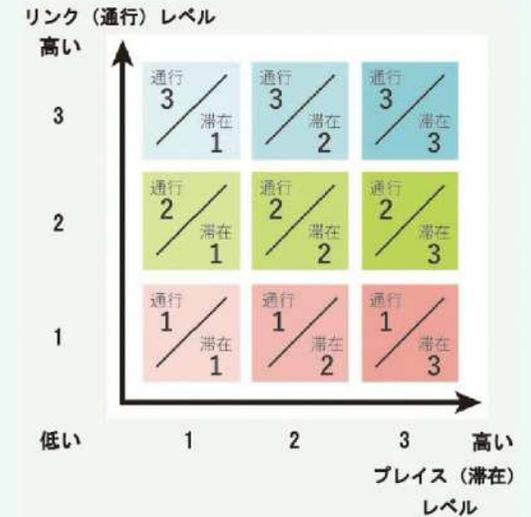


まちなかウォーカブル推進ガイドライン（令和6年度作成中）

中心市街地の道路交通体系の見直しとともに公共空間の再編・利活用戦略を検討

①リンク & プレイス理論に基づく現況整理

ストリートの機能を「**リンク（通行）**」機能と「**プレイス（滞在）**」機能に区分し、都市内のストリートタイプをを2軸で表現したマトリックスを用いてストリートの特性を把握し、計画する理論



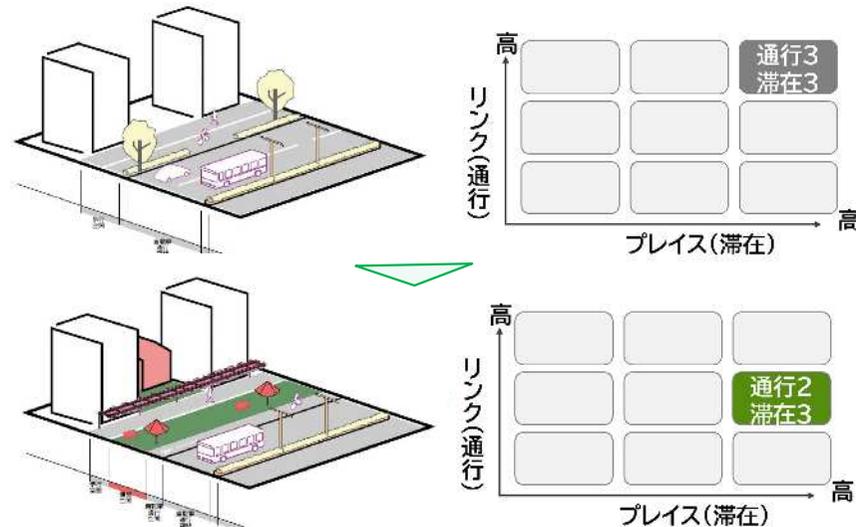
▲ストリートを構成する「**リンク（通行）**」機能と「**プレイス（滞在）**」機能

▲ストリートタイプの分類

出典：ストリートデザインガイドライン（国土交通省都市局・道路局）

②将来の変化・ポテンシャルを踏まえ、路線ごとに目指す方向性の整理を行う。

※現在検討中の内容です。



春日部版ウォーカブル施策における取り組み②



公的空間活用等推進本部（令和6年度創設）

鉄道の高架化で生まれる空間を活用していくための検討を行う
暫定的な庁内横断的体制

実務メンバー（Task force） 12課 14名

政策企画課	シティセールス広報課	管財課	環境政策課
商工振興課	観光振興課	農業振興課	道路管理課
道路建設課	公園緑地課	都市計画課	鉄道高架推進課

Task force1 主に施設管理セクション

①公共空間を活用するうえでのルールやガイドラインの検討

Task force 2 ソフト施策セクション

①官民連携まちづくりの事業スキーム検討
②共に歩んでくれるプレイヤー探し

全体のTask

庁内横断的な推進体制

- ・横断的な推進体制
- ・官民で“まち”のことを話し合える場

次年度以降の構築を目指す



私たち行政は、
これから、“まち”に関係する皆様と

中心市街地の将来像を共に描き、
共に“理想のまち”に向かっていきたい

と考えています。
そのために動いていこうとしています。

ご清聴いただき、ありがとうございました。